

第3期 橋本市

子ども・子育て支援事業計画策定に関するニーズ調査（案） （就学前児童用）

調査の趣旨とご協力のお願い

橋本市では、市民のみなさまのご理解とご協力を得ながら、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、『橋本市子ども・子育て支援事業計画』を策定し、子育て支援の充実を推進しています。

現在の事業計画は、令和6年度までの計画期間となっており、今年度は必要に応じ見直しを図り、今後どのような子育て支援サービスのニーズがあるか検討する時期となっています。

今回の調査は、令和7年度からの新たな第3期事業計画を策定するにあたり、現在、子育て中のみなさまの子育て支援サービスの利用状況やこれから期待することについて、ご意見等をお聞かせいただき、今後の子育て支援施策を進める上での参考資料とすることを目的としています。お忙しい中、大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年1月

橋本市

ご記入にあたってのお願い

1. この調査は、市内在住の小学校入学前（以下「就学前」）のお子さんの保護者にお願いするものです。令和5年12月1日現在の状況でお答えください。
2. 就学前のごきょうだいがいる場合は、年齢が下のお子さんについてご回答ください。
3. 同様の趣旨で小学生のお子さんを対象とした調査を実施しており、小学生のお子さん又は年齢が上のお子さんにこの調査票をお渡ししている場合があります。
4. 質問によって回答が難しいものは空白で結構です。

回収期限：**令和6年2月9日（金）**

提出方法は下記をご参照ください。

- 小学校・保育園等で調査票を受け取った方 ⇒ 配付時の封筒もしくは返信用封筒に入れ、小学校・保育園・こども園・幼稚園等にご提出ください。
- 郵送で調査票を受け取った方 ⇒ 返信用封筒に入れ切手を貼らずに郵送でご返送ください。

★この調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

橋本市健康福祉部こども課

電話：0736-33-6102（直通）

ご協力よろしく
お願いします！

お住まいの地域についておうかがいします

問1 ご自宅の郵便番号をご記入ください。

内に数字を記入

〒 -

ご家族の状況についておうかがいします

問2 お子さんの①生年月と②きょうだいの人数（ご本人を含む）をご記入ください。

内に数字を記入

① お子さんの生年月	平成 令和	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月生まれ	② お子さんの人数 (左記のお子さんを含む人数)	<input type="text"/>	人
------------	----------	----------------------	---	----------------------	------	-----------------------------	----------------------	---

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。また、年齢をご記入ください。

1つだけに○、() 内に数字を記入

- | | | |
|------------|---|-----------------|
| 1. お子さんの母親 | } | 回答者の年齢
() 歳 |
| 2. お子さんの父親 | | |
| 3. その他 () | | |

問4 ご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

1つだけに○

- | | |
|----------------|------------|
| 1. 配偶者（夫や妻）がいる | 2. 配偶者はいない |
|----------------|------------|

問5 ご家族の世帯構成と、同居している家族数をご記入ください。

1つだけに○、() 内に数字を記入

- | | | |
|-----------------|---|----------------------|
| 1. 二世帯（親、子） | } | 同居している家族の人数
() 人 |
| 2. 三世帯（祖父母、親、子） | | |
| 3. その他 () | | |

問6 お子さんの子育て（教育）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

1つだけに○

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 父母ともに | 3. 主に父親 | 5. その他 [] |
| 2. 主に母親 | 4. 主に祖父母 | |

保護者の仕事の状況についておうかがいします

問7 保護者の①現在の就労状況（自営業、家事従事者含む）と
 ②1年以内の予定や希望（どうしたいか）をそれぞれお答えください。
 （ひとり親家庭の方は、該当する部分のみお答えください。（以下、同））

質 問		母親・父親の就労状況・就労希望					
		フルタイムで働いている (働きたい)	フルタイムで働いているが産休・育休・介護休暇中である	パートタイムなどで働いている (働きたい)	パートタイムなどで働いているが産休・育休・介護休暇中である	専業主婦 (夫)	その他 (学生等)
① 現在の 状況	(1)母親	1	2	3	4	5	6
	(2)父親	1	2	3	4	5	6
② 1年以内 の予定・ 希望	(1)母親	1	2	3	4	5	6
	(2)父親	1	2	3	4	5	6

※上記のいずれかで「1・2・3・4」に○をつけた方におうかがいします。
 ※産休・育休・介護休暇中の方は休暇に入る前の状況でお答えください。

問7-1 1日の就労時間や週あたり就労日数などの勤務状況について、
 ①現在の勤務状況と②予定・希望の勤務状況それぞれをお答えください。

質 問		母親・父親の勤務状況 ※時間は24時間制でお答えください。（例 8時、18時）			
		1日の時間	週の日数	出勤時刻	帰宅時刻
① 現在の 勤務状況	(1)母親	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 時	<input type="text"/> 時
	(2)父親	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 時	<input type="text"/> 時
② 予定・希望 の勤務状況	(1)母親	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 時	<input type="text"/> 時
	(2)父親	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 時	<input type="text"/> 時

問8 昨年（2022年）のあなたの世帯の家族全員の収入の合計額（税金や社会保険料を払った後の手取り収入。単身赴任などのために一時的に別居している方も含む、株式配当などの副収入、公的な援助・手当や養育費・仕送りを含めた合計）をお答えください。

1つだけに○

- | | | |
|----------------|---------------------|---------------------|
| 1. 50万円未満 | 7. 500～600万円未満 | 13. 1,100～1,200万円未満 |
| 2. 50～100万円未満 | 8. 600～700万円未満 | 14. 1,200～1,300万円未満 |
| 3. 100～200万円未満 | 9. 700～800万円未満 | 15. 1,300～1,400万円未満 |
| 4. 200～300万円未満 | 10. 800～900万円未満 | 16. 1,400～1,500万円未満 |
| 5. 300～400万円未満 | 11. 900～1,000万円未満 | 17. 1,500万円以上 |
| 6. 400～500万円未満 | 12. 1,000～1,100万円未満 | |

問 10-1 で「1. 母親が休んだ」「2. 父親が休んだ」のいずれかに○をつけた方におうかがいします。

問 10-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われま
したか。(なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。)

あてはまるすべてに○、() 内に数字を記入

1. できれば病児保育施設等を利用したい ※1 ⇒ 利用希望日数 () 日
2. できれば病後児保育施設等を利用したい ※2 ⇒ 利用希望日数 () 日
3. 利用したいとは思わない

※1 病児保育 : 病気の回復期に至らないが、急変の恐れのないお子さんを一時的にお預かりする事業です

※2 病後児保育 : 病気の回復期にあり、集団保育が困難な期間、一時的にお子さんをお預かりする事業です

※ 本市は現在、病児保育は行っていません

問 10-2 で「3. 利用したいとは思わない」に○をつけた方におうかがいします。

問 10-3 そう思われる理由をお答えください。

あてはまるすべてに○

1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
2. 手続きが大変そう
3. 利用料がかかる・高い
4. 利用料がわからない
5. 親や親族・知人が仕事を休んで対応する
6. その他 ()



地域の子育て支援事業の利用状況についておうかがいします

問 11 下記の事業等で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものを各事業ごとにお答えください。

質 問	認知度		利用度		利用意向	
	どちらかに○		どちらかに○		どちらかに○	
	1. 知 つ て い る	2. 知 ら な い	1. こ と が あ る	2. 利 用 し た こ と は な い	1. 利 用 し た い	2. な い 利 用 し た く
1. 保育園・こども園・幼稚園の園庭等の開放	1	2	1	2	1	2
2. 一時預かり（一般型） ※1	1	2	1	2	1	2
3. 病後児保育 ※2	1	2	1	2	1	2
4. のびのび教室 ※3	1	2	1	2	1	2
5. ファミリー・サポート・センター	1	2	1	2	1	2
6. 利用者支援事業 ※4	1	2	1	2	1	2
7. 子育てガイド「子育てのびのび」（子育て情報誌）	1	2	1	2	1	2
8. 橋本市子育て情報サイト はびもと ※5	1	2	1	2	1	2
9. 子育て世代包括支援センター（ハートブリッジ） ※6	1	2	1	2	1	2
10. 乳幼児の交流と専門職による相談の場 ※7	1	2	1	2	1	2
11. こども食堂 ※8	1	2	1	2	1	2
12. 家庭教育情報誌「げんきっこ family」	1	2	1	2	1	2
13. 子育てサークル（自主サークル活動）	1	2	1	2	1	2
14. 図書館の読み聞かせの会	1	2	1	2	1	2
15. それいけ！わんパーク（リズムと遊びの会）	1	2	1	2	1	2
16. 和歌山県子ども・女性・障害者相談センターの相談事業	1	2	1	2	1	2

- ※1 一時預かり(一般型)：保護者の疾病、通院、リフレッシュ及び冠婚葬祭等による一時的な保育を行います。
- ※2 病後児保育：病気の症状安定期や病気回復期にあり集団保育等が困難で保護者が就労等により児童を家庭で養育できない期間の一時的な保育・看護を行います。
- ※3 のびのび教室：発達に支援を必要とする幼児や育児に不安を持つ保護者が親子で参加できる教室です。
- ※4 利用者支援事業：ニーズにより、適切な施設や事業を円滑に利用できるよう、きめ細かな情報の提供や相談・助言を行います。
- ※5 橋本市子育て情報サイト はびもと：橋本市ホームページにおいて子育て情報を掲載しています。
HAPPYをもっと！＝はびもと。橋本市の子ども達の笑顔がいっぱいです。
- ※6 子育て世代包括支援センター(ハートブリッジ)：妊娠期から18歳までの子どもとその保護者を対象とする、さまざまな不安や悩み、困りごとなどの『総合相談窓口』です。主な事業は次の通り
親教室・離乳食教室・アトピー教室、家庭児童相談室、子どもの発達相談、児童虐待防止 市民向け研修会 等
- ※7 乳幼児の交流と専門職による相談の場：子育てへのアドバイスや不安の解消の機会としてご利用いただけます。
あかちゃんひろば(第1子対象)、8ヶ月あそびの教室 ハイハイヨチヨチタイム、
双子三つ子を育てる親の交流会 等
- ※8 こども食堂：地域住民や自治体が主体となって無料又は低料金で子どもたちに食事を提供するコミュニティの場です。



土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についておうかがいします

問 14 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。保育・教育事業とは、幼稚園、保育所などの事業を指します。親族・知人による預かりは含みません。

それぞれ1つだけに○、() 内に数字を記入

<①土曜日>

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯 ※時間は24時間制でお答えください。(例 8時、18時)

() 時から () 時まで

<②日曜日・祝日>

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯 ※時間は24時間制でお答えください。(例 8時、18時)

() 時から () 時まで

「幼稚園・認定こども園（1号認定）」を利用されている方におうかがいします。

問 15 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1つだけに○、() 内に数字を記入

1. 利用する必要はない

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

3. 休みの期間中、週に数日利用したい

利用したい時間帯 ※時間は24時間制でお答えください。(例 8時、18時)

() 時から () 時まで



問 16 で私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を利用している方におうかがいします。

問 16-2 利用する目的とおおむねの年間利用日数をお答えください。

あてはまるすべてに○、()内に数字を記入

1. 私用(買物、きょうだいや親の習い事等)、リフレッシュ目的 ⇒ 年()日
2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等 ⇒ 年()日
3. 不定期の就労 ⇒ 年()日
4. その他() ⇒ 年()日

問 17 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。

1つだけに○

1. あった
2. なかった

問 17 で「1. あった」に○をつけた方におうかがいします。

問 17-1 実際の対処方法をお答えください。

あてはまるすべてに○

1. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった ⇒ 年()泊
2. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した ⇒ 年()泊
3. 2. 以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した ⇒ 年()泊
4. 仕方なく子どもを同行させた ⇒ 年()泊
5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた ⇒ 年()泊
6. その他() ⇒ 年()泊

問 18 保育園またはこども園における、夜間保育事業が実施された場合利用したいですか。

1つだけに○

1. 利用したい
2. 利用したくない
3. わからない

小学校就学後の放課後の過ごし方についておうかがいします

問 19 お子さんが小学校に上がったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間を、どこで過ごさせたいですか。①**低学年**、②**高学年**のおおよその日数をお答えください。

それぞれあてはまるすべての（ ）内に数字を記入	① 低学年 (1～3年生の間)	② 高学年 (4～6年生の間)
1. 自宅	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
4. 児童館・子ども館	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
5. ふれあいルーム（放課後子ども教室） ※1	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育） ※2	週（ ）日くらい →下校時から （ ）時まで	週（ ）日くらい →下校時から （ ）時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
8. 放課後等デイサービス ※3	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
9. その他（ ）	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい

※1 ふれあいルーム：

地域の方々の協力を得て放課後や週末に小学校や公民館で、学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※2 放課後児童クラブ(学童保育)：

保護者が昼間、仕事などで家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※3 放課後等デイサービス：

就学中の障がいをもつ子どもが、放課後や夏休みなどにおいて、生活能力向上のための訓練等を提供することにより、自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを行います。



問 19 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方におうかがいします。

問 19-1 土曜日と日曜・祝日、または夏休みや冬休みなどの長期休暇中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

※事業の利用には一定の利用料がかかります。

それぞれ1つだけに○、() 内に数字を記入

<①土曜日>

1. 低学年の間は利用したい } 利用したい時間帯 ※時間は24時間制でお答えください。(例 8時、18時)
 2. 高学年になっても利用したい } () 時から () 時まで
 3. 利用する必要はない

<②日曜日・祝日>

1. 低学年の間は利用したい } 利用したい時間帯 ※時間は24時間制でお答えください。(例 8時、18時)
 2. 高学年になっても利用したい } () 時から () 時まで
 3. 利用する必要はない

<③夏休み・冬休みなど長期休暇中>

1. 低学年の間は利用したい } 利用したい時間帯 ※時間は24時間制でお答えください。(例 8時、18時)
 2. 高学年になっても利用したい } () 時から () 時まで
 3. 利用する必要はない

職場の育児休業や短時間勤務制度などについておうかがいします

問 20 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

それぞれ1つだけに○	
①母親	1. 働いていなかった 2. 取得中である 3. 取得した 4. 取得していない
②父親	1. 働いていなかった 2. 取得中である 3. 取得した 4. 取得していない

問 20 で父母のいずれかもしくは双方が「2. 取得中である」に○をつけた方におうかがいします。

問 20-1 職場復帰の希望時期に必ずお子さんを預けることができるならば、職場復帰を希望される時期はいつですか。

職場復帰希望時期 □内に数字を記入	
① 母親	令和 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月に復帰希望 【お子さんが <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> ヶ月】
② 父親	令和 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月に復帰希望 【お子さんが <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> ヶ月】

問 20 で父母のいずれかもしくは双方が「4. 取得していない」に○をつけた方におうかがいします。

問 20-5 育児休業を取得していないのは、どのような理由ですか。

それぞれあてはまるすべてに○	①母親	②父親
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1	1
2. 仕事が忙しかった	2	2
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった	3	3
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	4	4
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	5	5
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	6	6
7. 保育所などに預けることができた	7	7
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	8	8
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	9	9
10. 子育てや家事に専念するため退職した	10	10
11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)	11	11
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	12	12
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	13	13
14. 産前産後の休暇(産前6週間・多胎妊娠14週間、産後8週間等)を取得できることを知らず、退職した	14	14
15. その他 ()	15	15

問 21-3 で「1. または 2. 教育・保育事業の利用が制限された」に○をつけた方におうかがいします。

問 21-4 制限されたことについてどのように感じましたか。

ひとつだけに○

1. 在籍園等における自粛要請の対応は適切だった
2. 自粛要請はしないほうがよかった
3. もっと自粛要請すべきだった
4. その他 ()

問 21-1 で「3. 身体・精神的に影響があった」に○をつけた方におうかがいします。

問 21-5 あなたの子どもや同居家族のどなたかが感染しましたか。

ひとつだけに○

1. 感染した
2. 感染していない

問 21-5 で「2. 感染していない」に○をつけた方におうかがいします。

問 21-6 感染はしなかったものの、何か精神的な影響がありますか。またはありましたか。

あてはまるすべてに○

1. 保育園等での日常生活の中で、感染に対する不安が大きくなった
2. 公共の場で（外出時など）感染に対する不安が大きくなった
3. 家族と関わる時間が増えて楽しい
4. 家族と関わる時間が増えて負担を感じる
5. 特になし
6. その他 ()

問 22 市内にこども食堂があることを知っていますか。

ひとつだけに○

1. 知っている
2. 知らない

問 22 で「1. 知っている」に○をつけた方におうかがいします。

問 22-1 行ったことはありますか。

ひとつだけに○

1. ある
2. ない

問 22-1 で「1. ある」に○をつけた方におうかがいします。

問 22-2 今後も引き続き行きますか。

ひとつだけに○

1. たびたび行きたい
2. とくどき行きたい
3. 行きたくない

お子さんが3歳以上の方におうかがいします。

問 26 就学(小学校入学)について、不安に思うことはありますか。

あてはまるすべてに○

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. 登下校の安全・安心 | 8. 就労と放課後の子どもの過ごし方の調整 |
| 2. 学習理解 | 9. 安心できる居場所の確保 |
| 3. 集団生活 | 10. 子どもとの接し方、子どもとの時間 |
| 4. 発達のこと | 11. 教育費等の出費 |
| 5. 学級集団(いじめ) | 12. 子どもに関する相談先 |
| 6. 生活習慣 | 13. 特になし |
| 7. 食事と栄養のこと | 14. その他() |

問 27 本市で実施しているさまざまな支援制度について知っているものはありますか。

※利用にあたっては、制度により所得制限があります。

あてはまるすべてに○

< 制度内容 >

- | | |
|--------------------|--|
| 1. 教育・保育給付費 | : 保育園・こども園・幼稚園を利用する場合に、市からの支給認定を受け、子どものための教育・保育にかかる費用を給付費として利用施設に給付 |
| 2. 就学援助費 | : (要保護児童援助費・準要保護児童援助費) 経済的な理由で就学が困難な小・中学校児童生徒の保護者に学用品費・給食費・医療費などの援助費を支給 |
| 3. 乳幼児・子ども医療費助成療 | : 乳幼児から18歳(18歳に達する日以後の最初の3月31日)までの児童の保険診療にかかる医療費(一部負担金)の助成 |
| 4. 児童手当 | : 中学校修了までの子を養育する人への援助 |
| 5. 在宅育児支援事業給付費 | : 第2子以降で1歳になるまでの乳児を保育している保護者で、一定の要件を満たす方に対し給付金を支給することで、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る |
| 6. 児童扶養手当 | : 18歳(18歳に達する日以後の最初の3月31日)までの児童を扶養している父又は母等に支給 所得や要件で受給状況がかわる |
| 7. 特別児童扶養手当 | : 一定の障がいのある子を監護する親や代わりに養育する方に、子が20歳まで支給 |
| 8. ひとり親家庭医療費助成 | : 18歳(18歳に達する日以後の最初の3月31日)までの児童を扶養しているひとり親家庭の父、又は母等とその子どもの医療費を助成 |
| 9. 母子及び父子並びに寡婦福祉資金 | : 子どもの修学資金や就職支度資金、住宅資金など母子家庭の母や子ども及び父子家庭の父や子どもに対する資金の貸付 |
| 10. 紀州3人っ子施策 | : 小学生以下の子を3人以上養育している人が一時的な育児支援を利用する際に要する費用の一部を援助 |
| 11. 自立支援教育訓練給付 | : 職業訓練講座を受講する母子家庭の母又は父子家庭の父に対し支給。 |
| 12. 高等職業訓練促進給付 | : 就業に結びつきやすい資格を取得するために、養成機関で受講する母子家庭の母又は父子家庭の父に対し支給 |
| 13. 知っているものはない | |

問 28 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

問 29 最後に、現在の教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

小学校・保育園等で調査票を受け取った方は、配付時の封筒もしくは返信用封筒に入れ、小学校・保育園・こども園・幼稚園等へ、郵送で調査票を受け取った方は、返信用封筒に入れ、切手を貼らずに郵送で、2月9日（金）までにご提出・ご返送いただきますようお願いいたします。

